

2016 千葉大会宣言

大会テーマ

「いっぽ 動き出すときは いま」

— 地域で支え合う子ども子育て支援 —

太古の昔より、とうとうと流れる「いのち」の大河の中で、私たちは今という時代を引き受け、今を懸命に生きています。

保育や子育て支援を担う私たちは、確かな子育ての実現と、「いのち」が響き合う輪を広げていくために、次の決意をしました。

1 社会全体で子どもが育つことを応援できるように

「子育てしやすい環境」が求められながら、未だに働くことに経済の価値が置かれ、企業の都合が優先された働き方で長時間労働や容赦のない転勤が慣行されて、社会の基本である家族の営みへの配慮が欠けています。

労働時間の短縮、育児休業の取得率の向上を計り、父親も出産に立ち会えるだけでなく産休も取れる。育児に参加する。平日に家族が揃って夕食ができるような社会に変革していくなどの抜本的な働き方の見直しを求めます。

2 子育ての精神的・経済的負担が軽減できるように

親の精神的/経済的貧困・社会環境の貧困・人間関係の貧困・地域力の貧困など様々な貧困が子どもの育ちに大きな影響をもたらしています。子育てを孤立させない。子育ての身近に頼れる安心の場がある。不安を受けとめてもらえる、つきあってもらえる。子育て仲間とつながり一緒の子育てが出来ることなどを、もっともっと当たり前のことにしていきます。

3 「いのち」が響き合う喜びを支えます

赤ちゃんが生まれ育つこと、親が親になっていくこと、そして親子を包む支援の輪との間で「いのち」が響き合うときに生まれる喜びを、私たちは保育園で、こども園で、子育て支援センターで一所懸命支えます。妊娠期からの母親と子どもの育ちを温かく抱きしめる社会の実現に向けて、私たちはその担い手として、子どもの育ちと子育ての支援の輪を広げます。

2016年 第7回子育て支援センター全国セミナーin千葉

参加者一同